

## 『当たり前』が 当たり前であることに感謝、「ありがとう」

学 園 長 小 島 澄 人

当たり前・・・すごく無難な言葉であるが、今年ほど有難いと感じた言葉はないと思います。

日が昇ると目が覚め、当たり前の日常だけどもこれも奇跡。お腹すいたら当たり前のようにご飯を食べられる日常。どれもこれも日々の中では当たり前の日常・・・でも、もしこの当たり前が少しでも崩れたら・・・。健康が害されたとき、いつもできていたことが出来なくなったとき、生活にすごく支障がでてそれだけで不安な時間を過ごす、まさにこのコロナの感染が日増しに増える不安な毎日とどこか重なるような気がします。出歩くにしてもマスクに消毒薬、気が付けばすでに当たり前を用意されている。外出自粛時でも、いろんな職種の方々によって、不自由ながらも無難に生活させていただくことが出来ていたことを考えても勿体ないくらいであった。よくよく振り返れば、どれもこれも自分一人で出来る事ではないことに気づかされる。それがいかに「感謝」しなければいけない事だと今更ながら気づかされる。

最近忘れがちな「当たり前」「感謝」は切っても切れない言葉だと思われる今だからこそ、言葉に出して「ありがとう」と言いたい。そして心の中で感謝できるとまた一つ心が成長できるような気もします。

この夏休み、是非「当たり前がいかにありがたいか、感謝すべきか」かを親子で考えてみるのも心の栄養になるかと思えます。子どもたちには難しいかもしれませんが、できるところから始めましょう。まずは『ありがとう』から始めましょう。

